

GR 86/BRZ Race 2021

プロフェッショナルシリーズ 第2戦

2021/5/8(土) - 2021/5/9(日)@富士スピードウェイ

#293 NEXEN Racing (ドライバー：岡本大地) 決勝5位、ポイントを獲得！



岡本大地 選手によるレースレポート

練習走行

木曜日からコースインをした NEXEN Racing は走り始めから順調に走行を重ねることができた。様々なテストメニューをこなし、特に占有走行枠では序盤はドライ路面、終盤はウェット路面という2つのコンディションでの走行ができ、貴重なウェット走行でのタイヤ評価を行うことができた。特筆する点は、表面グリップを発揮させるための内圧設定を発見することができたかもしれないという点。第1戦のもてぎ大会のウェットレースでは他メーカータイヤ装着車に大きく遅れていたが、今回の占有走行での発見によってライバル勢との差が少し緩和されていたように感じる。

予選

土曜日の予選では予選時間内のギリギリまでピットロードにステイして、ロングストレートが存在する富士スピードウェイでのスリップストリームを狙って、ターゲット選手のピットアウトに合わせてコースインをした。アタックラップでは、スリップストリームを狙っていたものの、うまく距離感を合わせられずに恩恵をうけることができないラップとなった。予選順位 16 位。シングルグリッド目標には及ばなかったものの、トップ 10 圏内までは、約 0.1 秒という激戦だった。そしてその激戦区に混ざることができたという点は大きな進歩だったと感じる。

決勝

決勝は、ライバル勢と比べてロングランのペースが悪くないということが事前の練習走行で分かっていたので、10 週のレースの終盤にかけて、前のクルマにプレッシャーをかけていけると予想していた。それに加えて、ライバル製と比べてストレートにアドバンテージがあったため、長いストレートがある富士ではこれを武器に戦うことができた。レーススタート後、すぐに 1 台をパスしてからは、想像よりもレース序盤のペースがよくて、ライバル勢とほぼ同じペースでバトルをすることができた。前方でも後方でも常に激しいバトルが繰り広げられ、ちょっとしたタイミングと立ち回りによって大きく順位を上げたり下げたりという非常にハイリスクなレース展開となりましたが、NEXEN Racing は幸運にもラップを重ねるたびに順位を上げることができた。やはりロングランのレースは非常に良くて、最終ラップまで順位を上げ続ける追い上げのレースを行うことができた。最終的には 6 位でフィニッシュ。前方車両の失格があり、リザルト上では 5 位にて正式結果が出されることとなった。

Race Result 決勝出走 30 台 / 完走 28 台

Pos	No.	Driver	Tires	Car	Time
1	10	菅波 冬悟	DUNLOP	OTG TN 滋賀 86	21' 09.038
2	98	近藤 翼	BRIDGESTONE	神奈川トヨタ ☆ DTEC 86R	21' 16.093
3	31	青木 孝行	BRIDGESTONE	ケーエムエス フェニックス 86	21' 17.779
4	160	吉田 広樹	BRIDGESTONE	埼玉トヨペット GB 86 BS	21' 18.806
5	293	岡本 大地	NEXEN	N Fera Sports 86	21' 21.952
6	80	宮田 莉朋	DUNLOP	OTG DL 86	21' 22.734
7	60	服部 尚貴	DUNLOP	OTG DL 86	21' 23.172
8	11	脇坂 寿一	BRIDGESTONE	Owltech 86	21' 23.614
9	988	井口 卓人	BRIDGESTONE	RECARO BRZ BS T	21' 24.740
10	34	佐々木 雅弘	BRIDGESTONE	小倉クラッチ REV086BS	21' 24.812